

3 菊池人 内田秋則さん  
 特集 児童虐待とDV  
 4 ずっと笑顔でいられるように  
 12 市職員の給与・定員管理などを公表します  
 15 第16回夫婦の手紙・絵手紙コンクール  
 16 農業委員会だより  
 17 花のまちづくり ガーデニングコンテスト2020  
 18 社会を明るくする運動  
 19 プラチナ未来人財育成塾  
 20 健康だより 要注意! 冬に怖いヒートショック/歯っぴーキッズ  
 21 国民年金情報/献血を広げよう/介護予防ミニ講座  
 22 文芸きくち  
 23 KICROSSだより  
 24 人権・同和教育シリーズ  
 はい!こちら菊池市消費生活センターです!  
 25 菊池一族の遺産/交流の絆/わいふ一番館/菊池観光協会  
 26 情報つう  
 31 ▼お知らせ 東京2020オリンピック聖火リレーが実施されます/市役所本庁舎窓口に手話通訳者を配置しています/熊本県最低賃金が改定されました/水道管凍結・破裂にご注意ください/新規農業就業奨励金結婚祝い金を交付します/第49回旭志元巨マラソン大会中止のお知らせ/「ハラスメント対応特別相談窓口」を開設します/スマートフォンを使って便利に申告/12月の「税」の納期限12月25日(金)/証明書コンビニ交付サービスを一時停止します/知っていますか?ヘルプカード/令和2年度(上半期)の公共工事などの入札結果を公表します  
 ▼募集 危険物取扱者試験/猫の避妊去勢手術費用を一部負担します/令和2年度自衛官等募集/首都圏へ進学する皆さんへ有妻学舎入寮生募集/令和3・4年度指名願の受け付けを行います/不用品(公用車)を公売します/菊池市身体障がい者福祉協議会員募集/第2回菊池市職員採用試験  
 ▼相談・講演講習 一人で悩まないで男女共同参画専門委員相談/納税相談夜間窓口を開設します/もの忘れ相談会/社会保険労務士による無料相談会/認知症介護家族のつどい/定期救命講習(普通・上級)/認知症サポーター養成講座/生活支援サポーター養成講座  
 ▼イベント 未就学児のためのすくすく講座/菊池市成人式/人権フェスティバル作品(作文・ポスターなど)の展示/くまもと障がい者芸術展を開催します/癒しの里・菊池マラソン/菊池栗スイーツキャンペーン2020  
 32 地域おこし協力隊通信/空き家バンクに登録しませんか  
 33 市民の広場/菊池の情報発信  
 34 高校魅力化全力通信  
 35 菊池っ子だより  
 36 TOPICS ~まちの話題~  
 38 市長からのメッセージ/休日在宅当番医  
 39 ハッピーバースデー/「赤ちゃんの駅」登録施設紹介

令和3年2月末まで受診可能!

健康診断を受診しましょう

新型コロナウイルス感染症の感染を防ぐため、健診を控えている人が増えています。健診は病気の早期発見につながる重要なものです。目に見えない体の変化を健診で確認しましょう。

【健診の申込方法】

- ▶申込フォーム  
市ホームページから
- ▶電話  
健康推進課健康推進係  
☎0968(25)7219へ電話

申込フォーム



「きくち健康ポイント事業」に応募できます

健診を受けると「きくち健康ポイント事業」に応募できます。めぐるん券や温泉券など素敵な賞品が抽選で当たります。詳細は市ホームページで「健康ポイント」と検索してご覧ください。

【問い合わせ先】

健康推進課健康推進係 ☎0968(25)7219

10月末の人の動き

人口	前月比	年齢別人口	
総人口: 47,973人	-71	0~14歳	6,239人 13%
菊池: 23,772人	-39	15~64歳	25,668人 54%
七城: 5,202人	-11	65歳以上	16,066人 33%
旭志: 4,388人	-10	自然増減	社会増減
泗水: 14,611人	-11	出生: 30	転入: 75
男性: 23,018人	-12	死亡: 59	転出: 122
女性: 24,955人	-59		
世帯: 19,508世帯	-21		

今月の表紙

紅葉の名所として知られる菊池渓谷。撮影日の11月5日には、紅葉狩りに来た家族連れやカップルなどが訪れていました。黄に色付いた木々。岩場には大小の葉っぱが敷き詰められ、まるで赤色のじゅうたんのようになります。自然のコントラストが幻想的な雰囲気を作り出していました。



公式ホームページ



市民の暮らしに必要な情報やまちの話題などを掲載しています。



新型コロナウイルス感染症の影響により掲載内容が変更になる場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

とことん  
極め抜く



**Profile** うちだ・あきのり  
 昭和25年9月8日生まれ。能楽囃子笛方一噌流に師事。九州で一人だけの流派。東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽囃子笛方専攻卒業。蟹穴在住。70歳。

菊池松囃子能場にて。昨年は菊池の松囃子にも出演

「全身で吹く」。力強くも透き通るように響く音色が能場に響き渡る。「姿勢や体調が悪いと良い音は出ない。それくらい繊細な音なんです」。舞台上では一挙手一投足見られていることを意識する。常に全体を捉え、全ての楽器に自分の音を乗せる。「舞手、囃子、全員が一つになり、能の舞台が完成します」

郵便局に勤めていた32歳の時、先輩に連れられ、謡の稽古を見に行った。「一緒に習おう」。先輩からの誘いを断り切れず始めた謡。やっていくうちにのめり込み、能の世界に引き込まれた。48歳の時、師匠の勧めで笛方の一噌流の家元に師事。とにかく場数を踏むように言われ、藤崎宮の秋の大祭奉納能や熊本城の薪能などで玄人と共に出演。舞台で他の流派にも合わせられるように、4流派の太鼓や大鼓、小鼓も習得した。

「もつと極めたい」。63歳で東京藝術大学へ進学。仕事を続けながら週2日、日帰りで2年間通い詰めた。「この中でモノになるのは1%。99%は使い捨て」。入学時に言われた言葉。厳しい稽古は当たり前。バチを投げつけられることも。辞めたいときもあったが、「やるなら真剣にとことん」。この精神を貫き通した。

「今日は気持ちよく舞えたよ」。舞手の言葉で達成感に満たされる。笛は生きがいだ。「この人に吹かせたら間違いない」。誰からもそう言われる笛方を目指し、今日も息を吹き込む。

「菊池人」  
希望者を募集します

新しいことに挑戦している人、伝統を受け継いでいる人など、菊池で頑張っている人を募集します。本市在住であれば自薦・他薦は問いません。詳しくは市長公室までお問い合わせください。

問い合わせ先

市長公室広報交流係  
☎ 0968(25)7252

菊池人 89  
一噌流 笛方  
内田 秋則さん



1\_江戸時代後期から受け継がれた能管(※)を愛用している。毎日吹かなければ、良い音は出ない 2\_月2回、自宅で教え子に稽古を行う 3\_趣味のバイクは13台所持。部品から組み立てるほどの愛好家 ※能や歌舞伎などの舞台上で用いられる日本独自の横笛